

通常議員総会開催

去る六月十七日(火)、当所四階において、通常議員総会を開催し、平成十九年度事業報告及び収支決算を審議、原案通り可決承認されました。

総括的事業概況

当商工会議所は創立六十周年を迎え事業の基本である「地元産業の振興」と「まちづくり」を最優先課題と捉えるとともに、全国統一で行われた役員改選での新体制の下、「政策提言」を積極的に行つてゆく方針のもと、新発田市内の産業界の現状を把握するために、各業界団体との懇談会を実施、業界で解決しなければならぬこと、商工会議所が取り組まなければならないこと、行政に対してお願いすることなど課題の整理を行い、緊急を要する事項について市並びに議会に要望書を提出いたしました。



前年度に引き続き新潟県信用保証協会の小規模事業向け提携保証「スクラム」を実施、より活用しやすい融資制度の充実をはかりました。個別の相談体制についても専門化・多様化する企業ニーズに対応するため、行政関係機関との連携をはかり「ローカル支援センター事業」を中心に専門相談員巡回による事業のマッチングの推進を図る一方、当商工会議所経営指導員による企業巡回の強化により、創業・経営革新等のニーズに積極的に対応しました。

「まちづくり」においては敬和学園大学との連携により、まちの駅「よろず」、新発田市が設置した「たまり駅」との連携事業や、新たに商店街(会)で組織した「新発田市商店会連絡協議会」とも連携し中心市街地のにぎわい創出のための事業展開

をはかりました。四回目となった当会議所青年部が実施している「城下町しばた全国雑煮合戦」事業も前年以上の来場者となり、学生はじめ一般市民のボランティアの協力も例年以上となり新発田の冬の中心的なイベントとして定着しました。

最後に、地域総合経済団体として「会員から信頼され、市民から親しまれ、行動する会議所」の基本理念のもと、地域に密着し各種ニーズに対して柔軟な調整機能を持つ機関として、コンプライアンスを遵守し事業の実施にあたりました。

主要事業説明

- ・ 商工業振興事業の推進
 - ・ 実現可能なビジネスプランの作成支援を行う創業塾の開催。
 - ・ まちづくり事業の推進
 - ・ 「まちの駅」に地域若者サポートステーションが開設、若者の職業的自立へ向けた支援。
 - ・ 「路谷虹児」をモチーフにした商品試作品販売や企画展の開催。
 - ・ まちの駅「よろず」開設
- ・ 一周年記念事業の実施
- ・ 部会委員会等活動の推進
- ・ 六十周年事業として

「クーポン券発行」、「会員事業所ポッシング大会」の実施。

・ 広域連携事業「新発田経済圏合同役員懇談会」の開催。

・ 会館の耐震改修に向けて「会館整備検討委員会」を設置し、検討する。

・ 経営改善支援事業の推進

- ・ 提携保証制度「アローズ」、「スクラム」、十二件の利用、二千七百五十万円。
- ・ 金融融け相談百五件。

・ 提言・要望活動

・ 国関係

「平成二十年度税制改正に関する重点要望項目並びに幹線道路網の早期整備と道路特定財源に関する要望」

・ 新潟県関係

「郊外への大規模集客施設の駆け込み立地・建設抑制について要望」、「中小企業支援施策の拡充と強化に関する要望」

・ 新発田市関係

「中小企業者への受注機会の拡大について要望」、

・ 新潟県信用保証協会関係

「商工提携保証」スクラム。に関する要望」

- ・ 郵便事業株式会社関係
- 「切手・花嫁」の継続発行について要望」